

地域住民と連携した「田植え・稲刈り」

- 5年生が、総合的な学習の時間の活動として、田植えと稲刈りを体験しています。
- 学校から10分ほど歩いたところに、高田沼公園と、子どもたちがもち米作りを体験する田んぼがあります。
- 田植えと稲刈りは、地域協議会の委員である「高田沼公園を愛する会」「こもりやグリーン倶楽部」「農業インストラクター」の方が、体験農園部会の活動として、地域の団体や保護者ボランティアの方と協力して実施しています。
- 体験農園部会の方が、田起こしからずっと携わってくださっています。
- 地域の方が稲刈り用の鎌を全員分用意してくださり、子どもたちは、鎌の使い方や刈り方、気を付けることなどを教わった後、稲穂の根本を数本まとめてしっかりとつかみ、次々に刈り取っていきます。
- 地域の方や保護者ボランティアの方が、子どもたちに声を掛けながら、安全に活動が行われるように見守っています。
- 全て刈り取った後は、子どもたちが稲束を運び、農業インストラクターの方が受け取って脱穀機に入れていきます。
- 精米されたお米は、11月にPTA主催で実施される「清南まつり」で餅つきに使用されます。



田植えの様子



しっかりつかんで力強く



地域の方と協力して活動

【学校の声】

田植えと稲刈りを体験することを通して、お米が家庭に届くまでに、人・お金・技術の関わりがあることを学びます。そのような物事の始まりから終わりまでの間のこと、「物事を見る幅」に気付く力を身に付けてほしいです。

各地区の自治会長が地域協議会の委員であり、学校に率先して協力してくださっています。地域の人材としての子どもたちの育成を考え、子どもたちと地域とのふれあいを大切にした活動が多くあります。

【地域協議会の声】

地域のため、学校のために、地域の多くのボランティアの方に御協力いただいております。保護者だけではなく、地域の高齢者の方々も、進んで活動していただいています。

学校の外での活動も多く、子どもたちの安全の見守り活動のほかにも、子どもたちを巻き込んだイベントが多く実施され、地域と密接した活動に、子どもたちも積極的に参加しています。

【いいね！】

多くの地域の方が参加し、活動の中で、子どもたちと地域の方がふれあう時間も大切にされている。

地域協議会の委員には、各地区の自治会長や地区市民センター所長、駐在所長、消防団代表など、地域に深く関わっている人が多く携わっており、学校と地域が一体となった地域ぐるみの活動が、多く実施されている。

